

第2回国立大学法人京都教育大学経営協議会議事録

日 時： 平成22年6月10日（木）10時00分～11時20分

場 所： 事務局第一会議室

出席者： 齊藤、砂田、田端各委員
位藤学長、武蔵野理事、下林理事、松良附属図書館長
松枝監事、成瀬監事
(岡本理事、饗場附属学校部長、福本総務課長、小林企画広報課長、
中島会計課長、坂上施設課長、小林施設課施設グループリーダー、
榎本総務課総務グループリーダー)

- 議 題
1. 平成21年度決算概要（案）について
資料に基づき下林理事より説明があり、原案のとおり了承した。
 2. 平成21事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績
に関する報告書（案）について
資料に基づき位藤学長より説明があり、原案のとおり了承した。
 3. 平成20、21年度中期目標の達成状況報告書（案）について
資料に基づき位藤学長より説明があり、原案のとおり了承した。
 4. 連合教職実践研究科 現況調査表 教育・研究（案）について
資料に基づき位藤学長より説明があり、原案のとおり了承した。
 5. 平成23年度概算要求事項（案）について
資料に基づき下林理事より説明があり、原案のとおり了承した。

- 報 告
1. 平成21年度下半期寄附金受入状況について
資料に基づき下林理事より報告があった。
 2. 京阪奈三教育大学の連携について
位藤学長より京阪奈三教育大学の連携推進協議会を発足させる旨の報告があった。
 3. 旧陸軍工作物の寄附について
下林理事より寄附を受けた旨の報告があった。

意見等

実績報告等について

- ・質の向上度について、教員就職率だけでなく、現職教員が卒業後、どうなっていたかが大事なデータとなる。教育委員会等を通じて調べる必要がある。
- ・連合教職実践研究科のフォーラムの開催時期について、教育委員会の教職大学院希望者向けの研修とタイアップすればよい。12月頃までに教員が希望を出すのでそれまでに中間報告的なものを開催すればよい。

その他

- ・「地域社会との連携」で、産業界との交流が薄い。教育委員会だけでなく、京都の伝統産業等、外に向けて産業界と接点を見つけるようなプロジェクトを企画すればどうか。そのことからどういう教育が必要か考えてほしい。
- ・企業に実践フォーラムにも案内し、パネラーに入ってもらうことできっかけを作ればよい。